

無償資金協力「第七次地雷除去活動機材整備計画」 機材引き渡し式典の開催

7月6日（木）、シェムリアップ州カンボジア地雷除去センター（CMAC）地域本部に於いて、我が国の無償資金協力によって供与された地雷・不発弾除去活動に係る機材の引き渡し式典が行われ、当館から堀之内大使が出席しました。

本事業では、過去に供与した地雷・不発弾除去に関する機材の更新として、灌木除去機9台、地雷探知機729台、不発弾探知機15台、深部探査機62台、防護服450着、ヘルメット450個、移動用車両85台、救急車3台等を供与しました。これにより、CMACによるカンボジア全土に残存する地雷・不発弾の除去活動が、継続して安全かつ効率的に実施され、依然地雷や不発弾の脅威にさらされている住民の生活や営農活動の安全が確保されることが期待されます。

本式典には、ティア・バニュ副首相兼国防大臣、セレイ・コソル上級大臣兼カンボジア地雷対策犠牲者支援機構（CMAA）第一副委員長、リー・トーイツ上級大臣兼CMAA事務局長、ヘン・ラタナCMAC所長、菅野JICAカンボジア事務所長、荒川JMAS理事長、雨宮・日建取締役会長の他、約3,000名の地域住民等が参加しました。

式典では、供与した灌木除去機等を視察した後、堀之内大使が安全かつ効率的な地雷除去活動の実施を通じた住民の安全確保を祈念する旨のスピーチを行い、ティア・バニュ副首相が日本への感謝の意を述べました。その後、機材引渡を行うとともに、カンボジア政府が建設した地雷除去・平和記念館を視察するなど、地雷除去の重要性を再認識する式典となりました。



写真-1 供与を祝したリボンカット



写真-2 供与した灌木除去機等



写真-3 堀之内大使のスピーチ



写真-4 式典に出席した地域住民の方々